



報道関係者 各位

スペース LABO や THE OUTLETS KITAKYUSHU のオープンにより、いま注目の集まる八幡東田で、

東田・未来都市プロジェクト

ザ ひ が し だ フューチャー シティ プロジェクト
～The Higashida Future City Project～ を始動します！

1 プロジェクトの概要

現在、国へ提案中の「北九州市・東田 Super City for SDGs 構想」※に参画する企業や研究機関等による実証・実装事業等を推進し、さらに加速していくため、新たに、『東田・未来都市プロジェクト ～The Higashida Future City Project～』を始動します。

本市のスーパーシティ構想に掲げる「デジタル技術を活用し、環境・経済・社会の好循環によるSDGsの加速化、脱炭素社会の実現」に向け、東田エリアで、2030年頃の未来社会の先行実現を目指します。

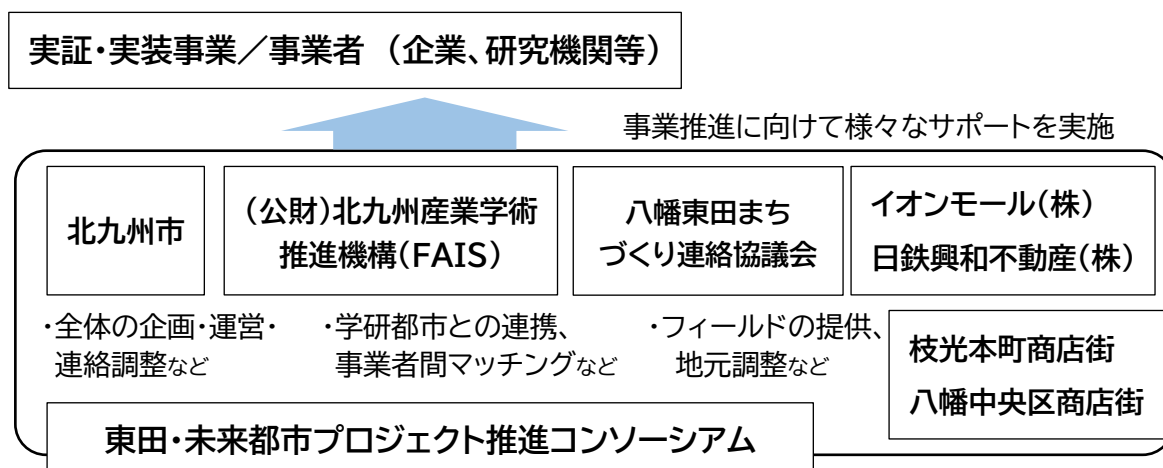
また、本プロジェクトは、本市の「SDG-X リーディングプロジェクト」とも連携し、社会課題の解決に向けた革新的な取組の推進を図ります。

※令和3年度に北九州市より国へ提案。国は、令和4年4月に大阪市及びつくば市についてスーパーシティの区域指定を行ったが、本市を含む指定されなかった応募自治体については、「先端的サービスや規制改革提案の熟度が高まった自治体は、改めて指定を検討する」としている。

2 プロジェクトの推進体制

新たに、産官学民による『東田・未来都市プロジェクト推進コンソーシアム』を設立し、実証・実装事業を強力に推進します。

<構成メンバーと主な役割>



3 新たな事業・事業者の公募

さらに未来都市づくりを加速していくため、スーパーシティ構想中の事業に加えて、本プロジェクトでは新規事業を次のとおり募集します。

(1) 募集内容

以下の分野から、一つ以上の先端的なサービス・技術等の導入により、「北九州市・東田 Super City for SDGs 構想」の実現及び社会課題の解決に資する実証・実装の取組及び規制改革事項(任意)を募集します。

〈分野〉

移動・交通、物流、観光・商業、社会福祉、ヘルスケア、環境・エネルギー、防犯、防災、その他

(2) 支援内容

① 実証フィールドの調整

東田地区に所在する博物館群等公共施設、THE OUTLETS KITAKYUSHU やイオンモール八幡東など、解決したい課題に応じた多種多様な実証フィールドを提案・調整します。

② ワンストップによる実証支援

「北九州高度産業技術実証ワンストップサポートセンター」での経験を生かし、フィールドの調整に加え、許認可や地元関係者等の調整をワンストップで支援します。

③ 資金獲得の支援

国や市の各種補助金等の獲得を支援します。また、本プロジェクトの参画者は、「SDG-X リーディングプロジェクト補助金」への応募が可能となります。

④ 規制改革の支援

よりビジネスがやりやすくなるよう、国家戦略特区を活用して、必要な規制改革提案を国に対して行います。

⑤ 事業者間の連携支援

プロジェクト参画企業はもちろんのこと、研究機関やスタートアップ企業など市が有するネットワークを通じた事業者間のマッチングを行い、新たなビジネスの創出を支援します。

(3) 応募資格

① 個人を除く企業・研究機関・団体等

② 本プロジェクトに参画し、応募した取組を東田地区及びその周辺地域で実証・実装する意向がある事業者

(4) 令和4年度 事業募集期間

令和4年8月18日から令和5年1月31日まで(随時)

(5) 応募方法等

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kikaku/28500216.html>



あたらしいことを、はじめやすい都市。
福岡県北九州市。

【お問い合わせ】 北九州市企画調整局 地方創生 SDGs 推進部
泊(課長)、北尾(係長) TEL:093-582-2904

4 実証フィールドとしての資源が豊富な東田エリア

東田地区は、日本初の近代高炉が立地した「産業革命の地」であり、過去の甚大な公害を産学官民の連携で克服した経験や、製鐵所跡地での「環境」をテーマとした持続可能なまちづくりなど、これまで、技術、人材、ノウハウなどの様々な「地域資源」が蓄積されています。現在は、THE OUTLETS KITAKYUSHU やスペースLABOのオープンにより、多くの人が訪れ、非常に注目が集まっています。



(1) 多様な実証フィールド

様々な属性の実証フィールドが利用できるだけでなく、フィールドがエリア内にコンパクトにまとまっているため、組み合わせて活用することによりあらゆる実証ニーズに対応可能です。

(2) 充実したデジタルインフラ

NTT コミュニケーションズ(株)との連携に基づき整備された5G 電波や、ゼンリン(株)が整備した高精度3D 地図を、自動運転やドローンなどの先進的実証に活用できます。

(3) 脱炭素社会に向けた取組

水素社会の実現を目指し、北九州水素タウンにおいて、水素パイプラインを活用した各種先端技術実証を実施しています。

5 現在進行中の主な実証等事業

本市のスーパーシティ構想中の事業のうち、東田において、現在進行中の主な実証等の事業です。他の事業についても、準備の整った事業から、随時実施していく予定です。

(1) MaaS に向けた実証 (EV バス、グリーンスローモビリティ)

○概 要

本市では、利便性向上や地域課題解決に向けて、自動運転等の先端技術、様々なモビリティやサービスを最適に組み合わせてサービス提供を行う「MaaS」を推進しています。今回、東田エリアの回遊性向上を目指し、MaaS ポータルサイトを活用した情報発信や最適な運行形態・ルートを検証するため、電動モビリティの運行実証を行います。

○実施主体 東田ミュージアムパーク実行委員会
公益財団法人北九州産業学術推進機構

○実施時期 (予定) 令和4年10月

○実施場所 (予定)

THE OUTLETS KITAKYUSHU、スペース LABO、
イオンモール八幡東、スペースワールド駅、
いのちのたび博物館、環境ミュージアム等



(株)EVモーターズジャパンのEVバス

(2) 東田スマートミュージアム (センシング)

○概 要

東田エリアの文化施設にカメラセンサーを設置し、映像を AI 解析によって混雑状況をデータとして取得します。データは(株)ラックが提供する、セキュア IoT プラットフォーム「smart town」に収容し、市へ提供されます。

※個人情報やプライバシーに関わるデータは取得せず、センサー側で映像の AI 解析を行い、解析結果(日時、検知人数等)のみ送信しています。

○実施主体 株式会社ラック
(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：西本 逸郎)

○実施時期 令和4年2月から実施中

○センサー設置場所

いのちのたび博物館、環境ミュージアム
官営八幡製鐵所旧本事務所眺望スペース



環境ミュージアムに設置中のセンサー

(3) ダイバーシティ実現スマートタウン (視覚障がい者移動支援)

○概 要

視覚障害を持つ方に対し、スマートフォンで周辺画像を取得・解析し、位置情報等と併せて、経路や障害物情報を音声で通知するとともに、対話機能により利用者の歩行を支援します。

○実施主体 株式会社コンピュータサイエンス研究所
(本社：北九州市八幡東区東田、
代表取締役社長：林 秀美)

○実施時期 実装に向けて準備中



視覚障がい者歩行支援アプリ「EyeNavi」